



区の花「ニリンソウ」の都内最大自生地（都立赤塚公園 大門地区）

## 令和5年第1回定例会（2月14日～3月23日）

# 令和5年度一般会計予算及び4特別会計予算を可決

### 主な掲載内容

施政方針に対する代表質問（要旨）	2～3
令和5年度予算に対する総括質問・討論（要旨）	4～5
令和4年度補正予算に対する総括質問（要旨）	6
議案、請願・陳情の審議結果	6
一般質問（要旨）	7～8
議会トピックス	8

- 定例会では、区政の各分野における課題について、5名の議員が一般質問を行い、区長などに報告や説明を求めました（要旨を7～8面に掲載）。
- 令和5年度予算や令和4年度補正予算など区長提出議案28件を可決し、議員提出議案は2件を否決しました。また、請願は1件を不採択、陳情は4件を採択、20件を不採択とし、その他は継続審査としました（審議結果及び補正予算に対する総括質問の要旨は6面に掲載）。

### 令和5年度当初予算の審査の経過

- 本会議2日目（3月1日）に予算案が提出され、区長から施政方針の説明を受けました。これを受け、本会議3日目（3月6日）に、各会派が区長の施政方針に対する代表質問を行いました（要旨は2～3面に掲載）。
- 区議会では、全議員により構成する「予算審査特別委員会」において、延べ5日間にわたり集中的に審査を行いました（予算に対する総括質問の要旨は4面に掲載）。
- 本会議最終日（3月23日）に、予算審査特別委員長が審査結果を報告し、各会派による討論を経て、令和5年度当初予算を賛成多数で可決しました（討論の要旨は5面に掲載）。

### 区議会の新しい顔ぶれ

4月23日の区議会議員選挙の結果、板橋区議会（定数46人）の議員が決まりました。立候補届出による氏名は次のとおりです（50音順）。

- ・荒川なお
- ・いがらし学
- ・五十嵐やす子
- ・石川すみえ
- ・いしだ圭一郎
- ・一島ひろし
- ・井上温子
- ・いらい桐子
- ・岩永きりん
- ・内田けんいちろう
- ・大野はるひこ
- ・大野ゆか
- ・大森大
- ・おなだか勝
- ・小野ゆりこ
- ・おばた健太郎
- ・川口まさとし
- ・木田おりべ
- ・くまだ智子
- ・小林おとみ
- ・小柳しげる
- ・近藤夕カヒロ
- ・坂田れい子
- ・さかまき常行
- ・佐々木としか
- ・しいなひろみ
- ・実やすゆき
- ・しば佳代子
- ・鈴木こうすけ
- ・高沢かずもと
- ・竹内愛
- ・田中いさお
- ・田中しゅんすけ
- ・田中やすのり
- ・寺田ひろし
- ・長瀬達也
- ・中妻じょうた
- ・中村とらあき
- ・成島ゆかり
- ・ひはらみちこ
- ・間中りんぺい
- ・元山よしゆき
- ・山内えり
- ・山田たかゆき
- ・横川たかゆき
- ・わたなべ一美

# 代表質問

3月6日  
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。  
◆代表質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が代表質問をしている動画にアクセスできます。

## 中村とらあき

(自民党)



### 積極的なふるさと納税対策を

【質 問】減収を防ぐため、これまで以上に積極的な対策を打ち出すべき。

【区 長】今後も国に対し、特別区全体で制度是正を強く求めていく一方で、減収を少しでも防げるよう、クラウドファンディング事業や返礼品の拡大などに取り組んでいく。

### 地域ネットワーク強化による生活支援について問う

【質 問】自立相談窓口の拡充などを行う際に、これまでのノウハウを生かした事業効果は期待できるのか。

【区 長】地域住民や関係機関などで構成する支え合いのネットワークを生かした地域の見守りや気付きを通じ、誰一人取り残さない官民協働の地域共生社会を推進していく。

### 子ども食堂について問う

【質 問】子ども食堂に対し、保健所など行政としてどのように関わっているのか。  
【区 長】職員が定期的に子ども食堂に出向き、巡回相談

【教育長】学校における事前準備や心構えなどを記載した手引きを作成している。関係部署・機関と連携を強化し、適切に受入れが実施できるよう努めていくとともに、受入れ開始後の状況を踏まえ、適宜、見直しを行っていく。

### フリースクールとの連携について問う

【質 問】不登校問題の解決を図るためには、学校以外による支援の活用が必要と考える。連携体制・相談体制は。

【教育長】フリースクールの協力を得て、青少年問題協議会の委員や不登校生徒対象の進路相談会に参加いただくなど、連携を深めている。

### ゲートキーパーについて問う

【質 問】養成方法やフォローアップ体制は。

【区 長】5年度から、企業や町会・自治会など様々な主体に講師を派遣する出張研修を行う。受講後は、自殺対策の最新情報などを届け、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざしていく。

### 脱炭素社会の実現に向けて

【質 問】区施設の太陽光発電については、パネルの廃棄やフィルム型太陽電池の実用化などの技術革新を踏まえた計画を立て、施策の推進を。

【区 長】技術開発や費用対効果などの状況を注視し、判断していく。廃棄は、都が5年度から、リサイクルルートの確立などを推進することから、この動きに連動していく。

### いたばしPayの持続可能な利用について問う

【質 問】運営主体や店舗、利用者などに負担が少ない仕

組みが求められるが、見解は。  
【区 長】持続的な安定運用を確立していくためには、取扱店舗の拡大と、利用者数の増加が重要である。今後も、商店街振興組合連合会と協議して取り組んでいく。

### 高島平のまちづくりを問う

【質 問】高島平地域のまちづくりにおいて、都市計画を策定する必要性は。

【区 長】駅周辺の商業・業務機能の強化や良好な住環境の形成に向け、土地利用や施設整備を適正に誘導するため必要な方策だと考えている。

### 大山駅周辺地区及び上板橋駅南口地区への支援策を問う

【質 問】まちづくりにおいて商店街のテナント数が減少し、商店街活動に深刻なダメージを与えていることから、支援策を求める。見解は。

【区 長】再開発事業により影響を受ける商店街については、適切な支援を講じていく。

4年度から再開しており、引き続き、魅力ある公園整備の実現に向けて取り組む。  
ひきこもり対策を問う

【質 問】ひきこもりに関する実態調査の結果に基づく、今後の事業展開は。

【区 長】5年7月に、ひきこもりに特化した相談窓口を設置し、来所が難しい方にはオンライン相談を行うほか、家庭訪問などのアウトリーチ、関係機関への同行支援を行う。

### パートナシップ制度を問う

【質 問】ダイバーシティ&インクルージョンの推進に向け、都と連携が進むことが期待されている。今後の展開は。

【区 長】区では、パートナシップ宣誓制度の5年度中の創設に向けた検討を行っている。制度の創設や区民サービスの拡大にあたっては、都との連携に留意するほか、区民へ丁寧な説明を行っていく。

### 新型コロナウイルス感染症対策について問う

【質 問】感染症法上の位置付けが5類に移行された後のコロナ患者への対応方法は。

【区 長】発生届が不要となり、自宅療養者に対する健康観察や療養支援などは終了となるが、引き続き、コロナに関する相談を継続していく。

### 中小企業・個人事業者対策について問う

【質 問】コロナ禍やエネルギー・物価高騰への対策として実施してきた取組みについて、今後に向けた改善点は。

【区 長】今後、同様の支援を行う場合は、できる限り簡易な申請で、より多くの事業者が活用できる制度となるよう、改善を図っていく。

### 防犯対策を問う

【質 問】特殊詐欺などの犯罪が巧妙化している。防犯活動とともに拡充すべき対策は。

【区 長】特殊詐欺被害の防止に向け、区の簡易型自動通話録音機配付事業をはじめ、警察署や関係団体などと連携したイベントや講座の実施など、様々な対策を講じていく。

### 保育園事業者に対する運営支援について問う

【質 問】急速な少子化の影響により、保育園運営は極めて厳しい状況にある。運営支援を実施すべき。

【区 長】4年度から0歳児の欠員数に応じた運営費の支援のほか、入所実態を踏まえた定員設定が可能となるよう、利用定員の運用を変更した。

### 保育の質の向上を求めて

【質 問】子どもたちの安全を脅かすようなリスクに対し、保育施設にどのような支援を行っているのか。

【区 長】事業者に対し、必要な経費を助成するほか、研修による人材育成の機会を提供し、保育の質の向上に取り組んでいく。

### 男性の家事・育児の参画支援を問う

【質 問】今後の展開は。

【区 長】子育て支援策の連携や適切な情報発信を通じ、家事・育児への参加にとどまらず、参画レベルに上がるよう、意識を高めていく。

### 児童相談所の役割を問う

【質 問】児童虐待通告件数は増加傾向にあるが、児童相談所の担う役割は。

### 平和事業の充実について問う

【質 問】区民の平和活動を支援する補助金の創設や、「中学生平和の旅」の派遣先に沖繩を追加するなど、平和事業を拡充すべき。

【区 長】一般の平和を脅かす世界情勢に鑑み、平和意識の高揚と継承の重要性は高まっており、より効果的な平和事業となるよう検討していく。

### 震災対策について問う

【質 問】在宅避難時に給水拠点施設を利用する場合、区

【区 長】早期発見・早期対応を実現するため、関係機関へのアウトリーチなどを通じて、リスクのある家庭を把握し、支援につなげていく。

### 子どもまんなか社会を問う

【質 問】子どもを真ん中に据えて、健やかな成長を後押しすることもまんなか社会の実現に対する区の見解は。

【教育長】総合的な学習の時間やいたばし学級活動の日などの充実を通じ、新たな価値を創造する力など3つのコンピテンシーを育成し、子どもウェルビーイングという幸せな状態を実現していく。

### 子ども基金の設立を求めて

【質 問】子どもに特化した施策展開を加速するために、子ども基金の設立を。

【区 長】いたばし子ども未来応援宣言の理念のもと、基金の活用も含めた子育て支援の仕組みづくりに努めていく。

## 田中いさお

(公明党)



民はどのような準備が必要か。  
【区 長】ポリタンクやペットボトルなど、水を入れる容器を用意するほか、運搬用に簡易な台車やリュックサックなどがあれば便利である。

### 人口減少への対応を問う

【質 問】近隣住民や区外地域からも人が集うような魅力あふれる公園を整備すべき。

【区 長】これまで、こども動物園や水車公園など、特色のある公園づくりを進めてきた。史跡公園など、新たなコンセプトで出発する公園を含め、専門的知見や民間活力を大切にすることで、区内外から愛される公園をめざす。

### 基本目標「未来をほぐくむ あたかいまち」を問う

【質 問】子ども家庭総合支援センターにおける一時保護所の運営について、課題とその対策は。

【区 長】一時保護所の職員には、専門的なケアと適切な行動観察を行う能力が重要であり、日々の実践と学びから、職員のスキル向上を図り、安定した運営をめざしていく。

### 子ども基金の設立を求めて

【質 問】子どもに特化した施策展開を加速するために、子ども基金の設立を。

【区 長】いたばし子ども未来応援宣言の理念のもと、基金の活用も含めた子育て支援の仕組みづくりに努めていく。

りと対応を図っていく。



【2面から続く】  
を癒すグリーンケアの体制を充実させるべき。

【区長】女性健康支援センターでは、保健師が個別相談に当たっている。今後、産科医療機関と連携を図り、悲しみを抱え、自ら相談が難しい方にも届く支援を研究していく。

【質問】高校生等医療費助成制度について、8年度以降も継続実施できるように、財源の確保を求める。見解は。

【区長】8年度以降の財源に関する都との協議では、完全な無償化に必要な財源を都がすべて負担するよう、引き続き求めていく。

【質問】学校給食の完全無償化をめざし、財源の確保を検討すべき。

【教育長】無償化については、国や都が広域的に取り組むべきとの考え方もあり、現時点では、区が単独で実施するには様々な課題を整理する必要がある。今後、国や都の動向を注視し、国への要望を行うとともに、保護者負担の軽減策を継続的に検討していく。

【質問】スクールソーシャルワーカーをさらに増員するなど、子どもたちの居場所づくりを推進すべき。

【教育長】5年度は、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの体制強化、学校における居場所推進事業の拡充により、子どもの居場所づくりを推進する予定。

【質問】部活動の地域移行における課題とその対応は。

【教育長】計画の策定にあたり、実践研究モデル事業を実施し、課題について具体的事象に基づいた検討を行うこととした。種目による地域移行の進め方の違い、家庭の経済的負担などを見極め、しっ



いわい 桐子

(共産党)



公共施設削減路線の転換を

【質問】17カ所の集会所廃止など、公共施設の削減が地域コミュニティに与えた影響について、見解は。

【区長】現在及び将来の需要や適性配置などを踏まえ、未来へ継承していく施設のサービス・機能向上を図っており、住民福祉の向上に成果を上げていくと認識している。

福祉事務所の窓口委託を問う

【質問】窓口の受付が委託化されるとのことだが、センタータイプな相談内容を低賃金に加え、他の地域でも、駅周辺をはじめとした整備とまちづくりを推進すべき。

【区長】地区を代表する活動組織となるまちづくり協議会などの設立や都市づくり活動を支援し、より良いまちの形成をめざしていく。

計画を推進する区政経営について問う

【質問】国が進めるデジタル推進委員の活用を含め、デジタル支援員を導入し、区民全員が安心してデジタルを身近に使えるようにすべき。

【区長】デジタルの利便性を伝え、支援を行う人材に関するほか、ホームページでの動画配信、ハンドブックの全戸配布など、丁寧に周知を図っていく。

【質問】「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向け、再開発が計画されている地域

的に判断している。今後も、将来を見据えながら、適宜・適切に課題に対応し、公有地を最大限に有効活用していく。

都営新河岸二丁目団地の建替えについて問う

【質問】建替えにより、店舗などの廃業や移転で生活圏としての機能が大きく損なわれることになるが、見解は。

【区長】居住地の近くに生活に必要な施設があることが望ましいと考えているが、経営的視点や都の判断など、本場において施設経営の条件が揃うことが現状では難しいと認識している。

気候危機対策について問う

【質問】原子力発電所を活用する国のエネルギー政策に対し、区の見解は。

【区長】安全性を最優先に原発を活用すると判断した国のエネルギー政策に対し、意見を申し上げる立場にはない。

正規職員の抜本的な増員を

【質問】行政需要が増え、長時間勤務がなくならない実態において、適切な定数管理と正規職員の増員により、抜本的な体制強化を行うべき。

【区長】限られた人的資源を、真に必要な事務事業に効果的・効果的に配分するためあらゆる角度から業務量を厳密に算定し、人員を配分している。引き続き、行政需要に応じた職員配置と定数の適正化に努めていく。

福祉施設優先の公有地活用を

【質問】公有地の活用にあたり、タワーマンションよりも介護施設や障がい者施設としての整備を優先すべき。



高沢 一基

(民主クラブ)



積極財政で区内経済を動かせ

【質問】5年度の経済対策について、補正予算も含め、さらに積極的に進めるべき。

【区長】景気動向などを見極めながら、区として行うべき支援について、今後もスピード感をもって対応していく。

クラフトビール事業者の育成を求めて

【質問】クラウドファンディングを活用し、空き店舗に事業者を誘致することを提案

【質問】介護保険事業計画では、特別養護老人ホームの待機者に対する施設の必要量や待機者をなくすための計画が示されていない。いつまでに解消していくのか。

【区長】介護施設サービスの供給については、介護保険事業計画において需給状況を分析し、必要な量を整備することとしている。引き続き、計画的に必要なとされる量を見極め、整備に努めていく。

ジェンダー平等について問う

【質問】日本でも同性婚や選択的夫婦別姓の法整備を進めるべきと考えるが、見解は。

【区長】個人の尊厳と家族のあり方の根幹に深く関わる問題であるため、幅広い国民の理解のもと、国会で十分議論され、判断すべき事項であると考える。

一人ひとりに行き届く教育を

【質問】少子化を理由に教員員の定数増をほとんど行わない国の姿勢は問題。教職員定数に対する区の見解は。

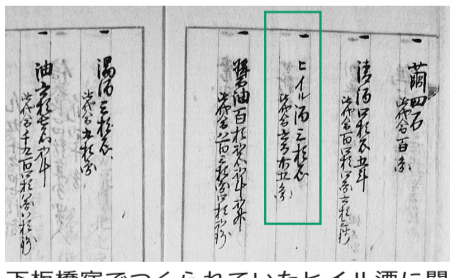
【教育長】教職員定数は都が決定するものであるが、区も学力向上専門員などを追加配置し、教員の負担軽減と勤務環境の改善に取り組んでいる。

【質問】学校給食費や教材費などを無償とし、義務教育の完全無償化をめざすべき。

【教育長】義務教育における私費負担の無償化については、現在の生活困窮家庭施策を継続しつつ、国や都の動向を注視していく。

【質問】大学生や専門学校生への進学費用や通学費の支援として、区独自の給付型奨学金制度を創設すべき。

【区長】社会福祉協議会及び日本学生支援機構が国を通じて実施しており、区独自に実施することは考えていない。※以上のほか、「平和都市宣言に反する戦争国家づくりにストップの立場で発信を」について質問があった



下板橋宿でつくられていたヒール酒に関する記述 (飯田侃家文書)

のにぎわいが広がることになれば、区内産業にとって好循環につながると考えている。

給食費の値上げ回避を求めて

【質問】物価高騰による給食費の値上げを防ぐため、政府備蓄米の学校給食への無償提供をより一層活用すべき。

【教育長】今後も学校給食における政府備蓄米の活用を積極的に推進していく。

プラネタリウムの更新を問う

【質問】教育科学館のプラネタリウムを更新する際は、各種イベントにも応用できる機器を導入すべき。

【教育長】機器の機能などを比較しながら、各種事業やイベントを効率的に行える形としたいと考えている。

公契約条例で質の高い公共サービスを

【質問】公契約条例は区・事業者・働き手の三方良しの制度である。条例の制定を。

【区長】今後も現場の声を聴きながら、公契約条例を含め、効果的な制度のあり方の研究・検討を進めていく。

交通安全対策を問う

【質問】警察と連携し、自転車や電動キックボードなどのマナーアップキャンペーンの実施を求める。見解は。

【区長】区民の安全で便利な交通手段となるよう、有効な啓発策を行う。

【質問】大山駅と板橋区役所前駅を結ぶバス路線の導入に向け、バス事業者と協議を。

【区長】バス路線の誘致を実現したいと考えており、バス事業者と協議していく。

### 令和5年度予算に 対する総括質問(要旨)

3月15日、  
16日、20日  
予算審査  
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

#### 田中しゅんすけ

(自民党)

##### 保健所運営体制について問う

問 体制強化の取組状況は。  
答 感染症対策課の新設や職員の大規模な増員などにより、業務体制を最適化してきた。5年5月から新型コロナウイルスは5類感染症に位置付けが変更となるが、現行の体制を確保する。

#### 安井一郎

(自民党)

##### 公園遊具の維持改修を問う

問 遊具が完成した場合は、早期に区民に開放すべき。  
答 可能な範囲で期間短縮を図れるよう努めるとともに、発注制度の研究・改善に、今後も関心を持って取り組む。

##### 自衛隊との連携について問う

問 大規模災害の発生に備え、顔の見える関係を構築すべき。  
答 今後も、普及事業や訓練などには、関係機関として協力を呼び掛け、顔の見える関係を築いていく。

##### 都市農業について問う

問 農業スキル育成講習の修了者である農のサポーターの具体的な活動計画は。  
答 収穫体験事業の拡充として、新たにサツマイモやトウモロコシの育成や、学校給食への食品提供の品目のうち、長ネギの生産を依頼したいと考えている。

#### なんば英一

(公明党)

##### 地域の福祉窓口のあり方について問う

問 地域センターに運営協議会を導入し、地域コミュニティの活性化を図るべき。  
答 仕組みを研究し、新たな地域センターの取組みの中で実現の可能性を探っていく。

##### 学校給食無償化について問う

問 今後の区の展望は。  
答 国や都の動向を注視し、国への要望を行うとともに、学校給食における保護者負担の軽減策について、継続的に検討していく。

##### 部活動の外部委託を問う

問 今後、部活動の外部委託が進むことによって、地域のクラブチームも学校施設を利用できるようになるのか。  
答 例えば、地域の少年野球チームなどに、将来、可能な限り学校施設の開放を行えればと考えている。

#### 川口雅敏

(自民党)

##### 5年度予算の概要を問う

問 収支均衡予算とは。  
答 経常的な経費に加え、臨時的な経費を含めたすべての経費において、財政調整基金繰入を行わず、当該年度の歳入で、すべての歳出を賄うことができる予算編成である。  
問 収支均衡予算に対する区の考え方は。  
答 財政運営指針において、特別区税などの一般財源の活用による予算編成として、収支均衡による財政運営を基本的な考え方としている。

##### まちづくりについて問う

問 大山駅付近の東武東上線連続立体交差事業及び駅前広場整備事業、補助第26号線整備

#### 山内えり

(共産党)

##### 物価高騰に対する支援を問う

問 区独自で経済的支援や給付金の支給を実施すべき。  
答 物価高騰による区民生活や事業者への影響を十分に注視しつつ、必要性を検討する。

##### 高齢者補聴器購入費助成事業の拡充を求めて

問 2万円の上限を引き上げ、対象者を非課税世帯から本人非課税に拡大すべき。  
答 事業の効果などを見極めながら検討していく。

##### 介護人材の処遇改善を求めて

問 国に対し、介護人材の処遇改善を求めたい。  
答 処遇改善など、事業者へ

#### 大田ひろし

(公明党)

##### 誰一人取り残さない社会をつくるために

問 すべての所管で取り扱うSDGsが企業や区民に浸透するよう取り組むべき。  
答 次期基本計画では、取組みをさらに具体化できるように検討していく。

##### 誰一人取り残さない仕組みづくりを

問 現時点では、少子化が進む中において、誰一人取り残さないという基本理念のもと、切れ目のない子育て支援など、若い世代の定住化に全力で取り組むべきと考えている。  
問 平和都市宣言の碑文を本庁舎や平和公園に設置すべき。  
答 効果的な平和事業の今後の展開などを含め、整理していきたいと考えている。

##### いたばしPayについて問う

問 取扱店舗の拡大に向けて

#### おばた健太郎

(民主クラブ)

##### いたばしPayについて問う

問 5年度から導入予定の公共施設予約窓口におけるキャッシュレス決済に、いたばしPayを利用できない理由は。  
答 区独自の取組みのため、窓口で配備する決済端末では支払いが行えないなどの課題があり、今導入を見送った。

##### ひきこもり支援について問う

問 相談室内のテーブルをL字型に配置するなど、相談しやすい環境づくりの検討を。  
答 先進事例を参考にする

##### 支援のあり方について

問 国の動向を注視し、必要に応じて制度改善を求めていく。

#### 荒川なお

(共産党)

##### 生活支援の充実を求めて

問 食料支援を行う民間団体は人手不足で準備に苦労している。支援の強化を。  
答 担い手の確保については、ボランティアセンターの活用を促すなど、団体に情報提供を行い、支援していく。

##### 区独自の給付型奨学金の実施を求めたい

問 区独自の給付型奨学金の実施を求めたい。  
答 社会福祉協議会及び日本学生支援機構が国を通じて実施しているため、区独自の給付金を検討する予定はない。

##### 若者や学生に対し、家賃助成を実施すべき

問 行財政改革の観点から、具体的な対策は。  
答 売上げに対して一定の率をキャッシュバックする店舗還元事業を5年度も実施し、商店街連合会が行う独自事業に対しても、ポイント還元が行えるよう予算計上している。

#### 中妻じょうた

(民主クラブ)

##### 自閉症・情緒障がい特別支援学級の設置を求めて

問 区立学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級の設置を。  
答 一人ひとりの教育的ニーズに着目した特別支援教育を推進していくため、設置を検討していく。

##### 高島平のまちづくりを問う

問 区がプロデューサーの役割、入室しやすい雰囲気など、工夫に努めていく。

##### 井上温子

(無所属)

##### 高島平のまちづくりを問う

問 団地の街区ごとに地域福祉拠点を整備するなど、具体的な取組みを進めたい。  
答 地域住民の多世代交流や多文化共生につながる取組みとなるよう検討していく。

#### 五十嵐やす子

(社民党)

##### ゼロカーボンいたばし2050を進めるために

問 CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロに向けて、市民が参加して議論する気候市民会議を実施すべき。  
答 他自治体の取組状況や成果を引き続き注視していく。

##### 長瀬達也

(無所属議員)

##### 悪質商法などの被害を未然に防ぐために

問 消費者センターと行政書士会、弁護士会などの士業団体が連携して取り組むべき。  
答 今後、連携強化の方策を協議したいと考えている。

#### 南雲由子

(無所属議員)

##### 10年後、20年後に続くまちづくりのあり方を問う

問 再開発事業が完了した後、にぎわいを生む仕掛けは。  
答 大山駅周辺地区での実証実験で得られた知見などを他のまちづくりに展開していく。

##### しいなひろみ

(無所属議員)

##### 子どもの入院に付き添う保護者への支援について問う

問 入院の際、保護者の負担感が大きい現状への支援策は。  
答 健康福祉センターの担当保健師が丁寧な話を聞き、サービスの紹介など支援を行う。

#### こんどう秀人

(無所属議員)

##### 区議・区長選挙の立候補届出関係書類の配布方法を問う

問 前回から変更した点は。  
答 手引きに綴っている届出用紙以外は紙の配布をやめ、書式を電子データ化するなどした。

##### 高島平のまちづくりを問う

問 4年12月に若木通りで交通事故が発生した。地域の現状に即して横断歩道の設置を。  
答 警察署に照会したところ、交通量や現地の状況などを確認し、検討したいとの意向。

##### 高山しんご

(無所属議員)

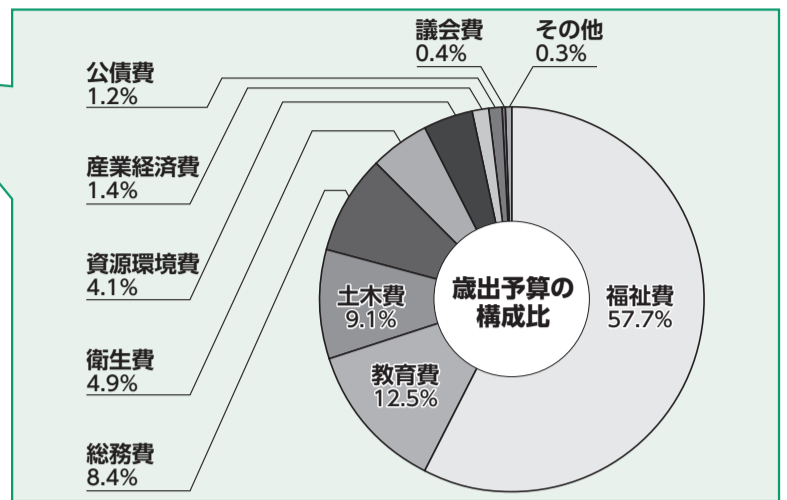
##### 区道の交通安全対策を問う

問 4年12月に若木通りで交通事故が発生した。地域の現状に即して横断歩道の設置を。  
答 警察署に照会したところ、交通量や現地の状況などを確認し、検討したいとの意向。

# 令和5年度

# 当初予算の概要と予算に対する討論(要旨)

<b>一般会計</b>	<b>2,372億5,000万円 (3.2%増)</b>		
<b>特別会計</b>	国民健康保険事業	558億3,000万円	(0.1%減)
	介護保険事業	463億7,300万円	(2.6%増)
	後期高齢者医療事業	142億4,900万円	(5.5%増)
	東武東上線連続立体化事業	4億4,000万円	(193.3%増)



※かっこ内は対前年度比

## 共産党

**反対** 一般会計、4 特別会計  
**賛成** 予算修正動議

**区民生活の困難を解決することに真剣に向き合う予算をめざせ**

- 生活困窮者対策が不十分。区として相談体制の強化と現金給付事業など積極的な支援策を。
- 国民健康保険料が高すぎて支払えない状況が広がっている。区独自の減免事業の実施を。
- 待機児童の解消とインクルーシブ保育の実現のため、保育士の配置基準の引上げと定員未充足へのさらなる財政的支援が必要である。

- 区が進めるまちづくり事業はタワーマンション頼みの再開発であり、住民主体にはなっていない。公営住宅の建設も低所得者への家賃助成も行わない中で、住宅格差が拡大している。
- 公共サービスの民営化方針が高齢者や子ども、障がい者に対する公的責任の後退につながっている。方針を転換すべき。

## 自民党

**賛成** 一般会計、4 特別会計  
**反対** 予算修正動議

**区民の声に耳を傾け、生活実態に沿った区民本位の区政運営を**

- 大幅な特別区民税などの増収要因となっている景気の回復傾向について、区民の生活実感とは乖離がある点を留意すべき。
- 飲用牛乳の購入に加えて、給食費の無償化についても検討すべき。国の動きも見据えながら、子育て世帯の負担軽減につながる取組みを。
- 創業、起業支援や個店が取り組む挑戦、チャ

- レンジを区として応援する体制を整えて、これからの区内経済の活性化につなげるべき。
- 出産・子育て応援事業については、伴走型相談支援の実施により、これまで埋もれていた妊婦へのケアが可能になるものと期待する。
- 職員の業務改善や働き方改革は、職員それぞれのキャリアプランを重視すべき。

## 社民党

**反対** 一般会計、4 特別会計  
**賛成** 予算修正動議

**基金への積立てではなく、生活を立て直そうとする区民・事業者を支援するための予算編成を**

- 会計年度任用職員や現場の正規職員を減らし委託化するのではなく、正規職員を配置すべき。
- 義務教育における私費負担軽減のため、就学援助の認定基準額の見直しや給食費の無償化を求める。
- ダイバーシティ&インクルージョンを標榜する区として、より積極的な取組みを。

- 脱炭素社会の実現に向け、ソーラーシェアリングなど区民の関心を引く取組みを。
- 新型コロナワクチンの副反応報告や健康被害の申告数が増加している。つらい思いを抱える区民の気持ちに寄り添った支援を。
- タワーマンション計画よりも、今暮らしている区民の暮らしや中小企業を支えるべき。

## 公明党

**賛成** 一般会計、4 特別会計  
**反対** 予算修正動議

**「東京で一番住みたくなるまち板橋」の実現に向けて、大きく前進を**

- 学校における居場所推進事業の拡充、スクールカウンセラーの増員などにより、学校の課題解決機能の強化を図ったことを評価する。
- 地域福祉コーディネーターのモデル事業を検証することで、より良い相談体制を構築し、区内全域への配置に向けた取組みを行うべき。
- 「いのちを支える地域づくり計画2025」に基

- づく事業の推進など、区民の健康と命を守る事業の展開を評価する。
- 荒川河川敷が区の新たなシンボルとなれるよう、防災面を強化するとともに、若者にとって魅力ある「かわまちづくり」となるよう求める。
- 「書かない窓口」の導入など、区民サービスの向上を図る環境整備の強化を高く評価する。

## 無所属議員

(南雲由子)

**反対** 一般会計、4 特別会計  
**反対** 予算修正動議

**ポストコロナの新たな時代に踏み出すため、現状維持ではなく、未来への投資となる予算編成を**

- まちづくりにおいて行政がやるべきことは、ハードをつくることではなく、まちを面として考えるエリアマネジメントであり、そこに住む人に重きを置くことである。現在、進めている市街地再開発は、一度立ち止まって見直すべき。
- 女性や若者への支援と少子化対策に向け、当事者である女性や若者にヒアリングを行うべき。

- 区民生活の向上を実現するため、限られた場を最大限活用して、区長と区議会が対話し、議論することが必要である。
- 価値観が多様な時代、様々な考えの区民や職員、議会の声を聴き、変化に柔軟に対応できる区政の実現が必要。子どもたちの未来のため、10年先に誇れる板橋を区民と一緒につくるべき。

## 民主クラブ

**賛成** 一般会計、4 特別会計  
**反対** 予算修正動議

**賃金引上げに向けた取組みなどを推進し、税収増を区民生活のために積極的に還元すべき**

- 会計年度任用職員や保育士・介護士などのエッセンシャルワーカーの待遇改善を。
- ケアリーバー応援プロジェクトとして家賃補助が盛り込まれたことを高く評価。この方向性を拡充し、困窮する世帯に家賃補助の実施を。
- 基金を積極的に活用し、老朽化した公共施設や学校施設の更新の前倒しをすべき。

- 返礼品型ふるさと納税を積極的に拡充し、財源確保と区の魅力発信に努めるべき。
- 首都直下型地震のリスクを検討し、区独自で感震ブレーカーや消火器の設置助成の実施を。
- 小中学校の一人一台端末をより一層活用するため、教育委員会が積極的に活用方法を提示するとともに、ICT支援員を拡充すべき。

令和4年度補正予算に  
対する総括質問(要旨)

2月27日  
予算審査  
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

元山芳行  
(自民党)



補正予算について問う

問 区立保育園運営委託経費過年度戻入及び臨時福祉商品券発行委託経費返還金は、地方自治法第20条の規定に基づき、予算計上されているのか。  
答 4年度途中に調定を行い、

寺田ひろし  
(公明党)



高齢者のスマホ相談を問う

問 高齢者が身近な場所で気軽にスマホ相談ができるよう、デジタル支援員を活用すべき。  
答 デジタル支援員のような人材確保などに向け、都のTOKYOスマホサポーター制度の活用も含め検討していく。  
問 帯状疱疹ワクチン助成を問う  
答 制度の概要と周知方法は、5年7月から、50歳以上の区民を対象に助成を開始する予定。ホームページや広報紙のほか、区内医療機関にも協力いただき、周知していく。  
問 防犯について問う  
答 防犯ドレイルカメラの貸出事業を導入しては、

石川すみえ  
(共産党)



子どもの居場所の保障を問う

問 小学生が児童館をもっと使いやすくなるよう、夕方にホールの使用を許可しては。  
答 現在進めている児童館のあり方検討の中で、活用の可能性について研究していく。  
問 児童館を子どもの居場所

渡辺よしてる  
(民主クラブ)



学校指導のコンプライアンスについて問う

問 小学校低学年の女子児童で、バストインナーの着用が認められなかったケースがあったと聞く。対策は。  
答 すべての教職員一人ひとりが正しい理解をし、適切な対応をしていけるよう一層の指導に努めていく。  
問 生徒指導などに関する相

井上温子  
(無所属)



在宅子育て家庭への支援を問う

問 定期的な一時保育が利用できるか、課題を見極める必要がある。引き続き、国などの動向を注視していく。  
答 喫煙・ポイ捨て対策を問う  
問 条例の強化と啓発の徹底を求める。区の見解は。  
答 条例の強化は、引き続きの検討課題と考えている。注意喚起が不十分な箇所があれば、路面ペイントなど可能な対策を実施し、ルール・マナーの周知・啓発に努めていく。

五十嵐やす子  
(社民党)



いたばしコミュニティフリッジについて問う

問 土日や年末年始の対応は。  
答 連休前に相談会を実施するなど寄り添った支援を行う。  
問 として有効活用するため、子ども食堂やフードバンクなどを実施すべき。  
答 子育て支援につながるような事業における児童館の活用については、事業を企画立案する庁内関係部署からの求めに応じて協議していく。

区営自転車駐車を問う

問 高齢者の就労支援の観点から、区営自転車駐車の指定管理者制度をやめるべき。  
答 雇用確保のためだけに指定管理者導入を撤回するということは、区民の理解を得られないものと考えている。

長瀬達也  
(無所属議員)



区内事業者の経営状況を問う

問 区はどう捉えているか。  
答 多くの事業者が、多かれ少なかれ経営上の困難を抱えているものと考えている。

南雲由子  
(無所属議員)



誰ひとり取り残さない福祉を問う

問 専門性のあるNPOや団体を担い手として育成すべき。  
答 地域事情に精通した事業者の育成・支援に努めていく。

しいなひろみ  
(無所属議員)



大島町の障がい者施設の入所者に対する虐待事件を問う

問 区として調査したのか。  
答 区からの入所者全員と面談し、安全の確保を確認した。

こんどう秀人  
(無所属議員)



マイナポータルの活用を問う

問 5年2月開始の引越しワンストップサービスの概要は。  
答 行政手続きと電気・ガスなどの手続きが一括で行える。

高山しんご  
(無所属議員)



エネルギー価格高騰を問う

問 影響を受けている区民への支援策について、見解は。  
答 今後、支援を必要とする方へ積極的に対応していく。

談窓口を積極的に周知すべき。  
答 今後もSNSなど効果的な手段を検討し、様々な機会を捉えて周知していく。

第1回定例会の審議結果

◆議案の内容や議員ごとの態度はホームページに掲載しています。  
◆会議録は5月下旬にホームページや区議会事務局、図書館、区政資料室で閲覧できます。

■全会一致となった議案・陳情と審議結果

Table with 3 columns: 件名, 結果. Rows include 区長提案 (予算・条例), 陳情.

■意見が異なった議案・請願・陳情に対する各会派の態度

(○=賛成、×=反対、退=退席)

Large table with 10 columns: 件名, 会派名 (自民党, 公明党, 共産党, 民主クラブ, 無所属, 社民党), 結果. Rows include 区長提出議案, 議員提出議案, 請願, 陳情.

【令和5年第1回定例会で付託され継続審査となった陳情】高次脳機能障がいに係る支援コーディネーターの配置に関する陳情/東武練馬駅東口改札までのエレベーター設置に関する陳情 第2項 バリアフリー整備協議の件/庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情(職員指導等の件)/日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

# 一般質問

2月14日  
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。  
◆一般質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



杉田ひろし

(自民党)



## 原動機付自転車への区オリジナルナンバープレート導入を

【質 問】 絵本のまち板橋をアピールするため、絵本のまちのロゴを入れた絵本型のナンバープレートなどを作成し、交付しては。

【区 長】 絵本のまちの発信・周知を強化する手法を検討していく中で、オリジナルナンバープレートの交付も含め、広く可能性を追求していく。

## 終活サポート事業を問う

【質 問】 障がいのある方の親亡き後の支援体制など、終活サポート事業の導入を。

【区 長】 障がいのある方の親亡き後に関する事前相談、生前の意向を必要の人に伝える制度といった終活サポート事業のあり方を、他区の動向も踏まえ、今後検討していく。

## 若者相談支援を求めて

【質 問】 若者が気軽に仕事や孤独などの悩みを相談できる窓口を設置しては。

【区 長】 若者に特化した相談窓口について、先進自治体の

の取組みを参考に研究する。  
ひきこもり支援を問う

【質 問】 ひきこもり相談支援事業について、当事者へのアプローチや相談窓口の整備など、具体的な対応方法は。

【区 長】 いたばし生活仕事サポートセンターに専用の窓口を設け、支援コーディネーターを配置する予定。来所型の相談のほか、家庭訪問などによる支援を予定している。

【質 問】 ひきこもり支援は、各部署との連携のほか、民間団体を含めたプラットフォームによる取組みを推進する必要があると考える。見解は。

【区 長】 5年度から、支援機関、関係団体などによる「ひきこもり支援調整会議」を開催し、支援方針などについて、専門的な見地から協議を行うなど、連携強化を図っていく。

## 障がい者(児)福祉施設整備事業について問う

【質 問】 板橋キャンパスで予定していた共同生活援助などの4事業について、可能な事業から早期に実現すること



茂野善之

(自民党)



## ハトへのエサやりを問う

【質 問】 4年11月の一般質問では、ハトへのエサやり対策の強化について、検討したいと考えているとの答弁があったが、進展状況は。

【区 長】 定期巡回に加え、区民から連絡があった際に現場確認を行い、エサを与えている人に接触できた場合には、声掛けをしている。しかしながら、解決に至らない事例が多いため、都と連携し、対策の強化を引き続き検討する。

## 青少年健全育成事業を問う

【質 問】 青少年健全育成事業は、コロナ禍の影響により、3年度から委託料が減額され

を強く要望する。区の見解は。  
【区 長】 短期入所と児童発達支援の早期の開設をめざし、個別に進めていく。引き続き、障がいのある方が安心して生活を送るため、必要な生活基盤の確保に向けて取り組む。

## ライフステージに応じた学びについて問う

【質 問】 今後の板橋グリーンカレッジのあり方を検討するうえで、基本的な視点は。

【教育長】 シニア世代に加え、若年層や女性活躍など、区民のニーズを調査し、年齢を問わず、広く学べる環境を提供していく。

## 東武東上線のホームドアの早期整備を求めて

【質 問】 ホームドア整備の進捗状況は。



志村小・志村四中の小中一貫型学校を問う

向性を決定する予定である。  
【質 問】 志村小は、区内においても非常に長い歴史と伝統がある。どのような形で残り、保存していくのか。

【教育長】 保存品は、学校、保護者などの関係者がデジタル化の視点を含めて選定し、展示場所を検討する。象徴となる樹木などは校地内外で移植し、両校が培った歴史と伝統を後世に伝え、郷土愛を育む学校としていく。

## 榛名林間学園について問う

【質 問】 6年度末で廃止する方向と聞いている。廃止の経緯と代替施設の検討状況について、見解は。

【教育長】 築50年を迎え老朽化が進んでいることから、施設のあり方の検討を行い、廃止する方向性となった。群馬県や旅行会社の協力のもと、代替施設を探しており、5年度中に協議や検討を行い、方



【区 長】 東武練馬駅、下赤塚駅、成増駅については、7年度までの完成に向けて、調査設計に着手したと聞いている。着実に整備を進めるよう

東武鉄道に働きかけていく。※以上のほか、ごみの投げ捨てやたばこの吸い殻などのポイ捨て対策について質問があった



大田ひろし

(公明党)



## 公共施設について問う

【質 問】 区民が魅力を感じ、誇りに思える建築物を今後も残すべき。

【区 長】 周辺環境や区全体を俯瞰する視点を大切にしながら、機能とサービスの向上を図り、安心・安全で魅力あるレガシーとして次世代へ確かに継承していく。

## ふるさと納税の返礼品参加について問う

【質 問】 区民税の流出を防ぐため、返礼品の拡充を。

【区 長】 5年度は、区のプロモーションにつながる返礼品をさらに拡大していく予定。引き続き、創意工夫を凝らし、組織や制度設計などの課題を踏まえながら検討していく。

## 未就園児保護者の支援を問う

【質 問】 保育施設の空き定員を活用し、保護者のニーズに応える事業を検討すべき。

【区 長】 小規模保育施設などの一時預かり事業を進めながら、区の保育需要に応じた最適な方策を検討していく。

## 「教育の板橋」について問う

【質 問】 授業力の高い教員を教科等指導専門官に任命しているが、運用状況や課題は。

【教育長】 4年度は24名を任命し、年間49回の授業を公開

推進プランを強力に推進し、課題の解決を図っていく。※以上のほか、区長4期16年の総括、都市間交流について質問があった

## 起業をめざす若者への支援を求めて

【質 問】 スタートアップ支援の拠点を利便性の高い駅周辺などに整備すべき。

【区 長】 産業振興事業計画2025では、駅前拠点整備事業などを踏まえ、産業支援施設の高度化をめざしており、利便性の高いスタートアップ支援の拠点について検討する。

## リスキングについて問う

【質 問】 国による支援策が企業や個人に着実に届くよう、迅速に周知徹底を行うべき。

【区 長】 リスキングを含めた各種支援策については、国からの情報が得られ次第、周知を進めていく。

## いたばしPayについて問う

【質 問】 取扱店舗を拡大すべき。

【区 長】 いたばしPayの持続的な安定運用を確立していくためにも、取扱店舗のさらなる拡充は重要であり、商店街振興組合連合会とも協



デジタル地域通貨「いたばしPay」

## 自転車の安全利用を問う

【質 問】 自転車ネットワーク路線の整備状況と今後の方針は。

【区 長】 関係機関と交通処理や標準規格などの調整を進めており、5年度末には約2km、その後は毎年7kmずつの延伸をめざす計画である。

## 都の太陽光発電パネル設置義務化に対する区の姿勢を問う

【質 問】 ゼロカーボンシネイを表明した区として、どのような姿勢で臨むのか。

【区 長】 区としては、環境アクションポイント事業をさらに充実させていく。今後も、国や都と連携し、適切な役割分担のもと、脱炭素社会に向けた取組みを進めていく。

## 若者や子育て世代の声を生かした公園づくりを

【質 問】 区内6大学との包括協定などを活用し、若者のニーズや意見を聴くべき。

【区 長】 特殊な役割の公園整備では、専門家などに指導や支援を求めることが有効であるため、大学も含めた各協定の活用を推進していく。

※以上のほか、SDGs未来都市計画、積極財政の考え方について質問があった



小林おとみ

(共産党)



物価高騰に対する支援を問う

【質 問】異常な物価高騰から区民生活を守るため、緊急の支援が必要。見解は。

【区 長】低所得世帯や子育て世帯への国及び区独自の給付金を補正予算に3回計上し、これまで生活支援を行ってきた。今後も、困難を抱える区民に寄り添った支援を行い、不安や悩みを解消していく。

【質 問】会計年度任用職員の期末手当は正規職員と異なり、引上げがないなど不平等である。処遇を改善すべき。

【区 長】勤勉手当の支給を可能とする地方自治法の改正案が国会に提出される予定であり、適切に対応する。賃金は、近隣区の状況や物価上昇の影響を踏まえ、区独自でさらなる引上げを行う想定で5年度予算案を編成している。

新型コロナウイルス対応について問う

【質 問】感染症法上の位置付けが5類に変更され、医療費負担が発生することで、受診控えや感染拡大につながる懸念があるが、見解は。

【区 長】区では、位置付け変更後も相談体制を継続し、受診が必要な方が医療を受けられるよう支援していく。

【質 問】高齢者施設で発生したコロナ患者の受入先を確実に確保する必要がある。高齢者等医療支援型施設などでの受入体制が後退しないよう、関係機関に強く求めるべき。

国民健康保険料について問う

【質 問】5年2月の特別区長会で5年度の国民健康保険料が決定されるが、値上げされる保険料を承認すべきではないと考える。区の見解は。

【区 長】これまでも保険料の抑制について最大限の努力を講じているが、後年度への負担増を考慮すると、引き上げはやむを得ない。

【質 問】5年度の国民健康保険料が値上がりしないよう法定外繰入を行うべき。

【区 長】一般会計からの法定外繰入については、早期に解消するよう、国からも強く求められている。保険料の値上げを抑制することを理由とする法定外繰入を行うことは難しい。

旧統一教会との関わりについて問う

【質 問】今後、区が関わりを持たないために、どのように取り組むのか。

【区 長】旧統一教会及び関連団体による活動状況が社会的問題になっていることを踏まえ、区として対応方針を定め、取組みを進めている。今後、取組みを着実に実行することで、被害の未然防止を図っていく。

【質 問】旧統一教会の被害者救済の相談を消費者問題とせず、区独自の相談窓口を設置し、併せて国の相談窓口を周知すべき。

【区 長】消費者センターにおいて、消費者被害や個別の相談内容に応じて適切な相談

蓮沼公園のトイレ洋式化について問う

【質 問】蓮沼公園のトイレ洋式化への見直しを示すべき。

【区 長】特段の支障が生じない限り、遅くとも6年度までに工事を完了する予定。※以上のほか、高齢者のくらしにのしかかる負担を軽減するために、板橋から軍備拡大



おばた健太郎

(民主クラブ)



絵本のまち板橋について問う

【質 問】創作絵本コンクールを行い、区民賞や地域賞などを設け、地域一体となって絵本作家を応援しては。

【教育長】絵本の楽しさや魅力を伝えていく観点や若手の絵本クリエイターを応援する観点から、創作絵本の賞の創設を検討する。

区民参加型予算の導入を

【質 問】区民から予算の使い道を募集する参加型予算の導入を検討すべき。

【区 長】他自治体の先進事例などを踏まえつつ、課題を整理し、制度導入の方向性について研究を進めていく。

学校給食における牛乳の提供について問う

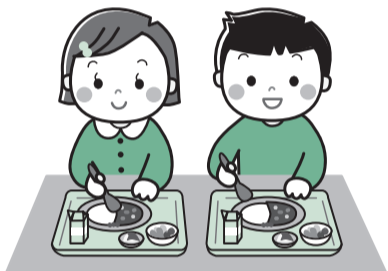
【質 問】毎日牛乳を提供するのではなく、献立内容に合わせ、柔軟に対応すべき。

【教育長】今後も栄養摂取基準を満たす範囲内で、費用面



反対の声を、志村小・志村四中の統一貫校化の見直しについて質問があった

と併せて、総合的に献立づくりに取り組んでいく。



新任教員のOJT制度の拡充を求めて

【質 問】新任教員に最初からクラス担任を任せるのではなく、まずは副担任とするなど、OJT制度を拡充すべき。

【教育長】すべての学校で新任教員を副担任とすることは困難だが、サポートを充実させることは必要と認識している。4年度には、経験豊富な再任用教員が小学校17校で新任教員のOJTを行っている。

議会トピックス

区議会では、特に重要な案件を専門的に調査する機関として、4つの特別委員会を設置しています。このほど、2年間にわたる活動報告をまとめ、区に提言を行いました。主な提言は下記のとおりです。スマートフォンなどで2次元バーコードを読み取ると、各特別委員会の活動報告書にアクセスできます。

Table with 4 columns: 自治体DX調査特別委員会, 地域・経済活性化調査特別委員会, 災害対策調査特別委員会, インクルージョン推進調査特別委員会. Each column contains detailed reports and recommendations.